



# 青少年のボランティア活動の充実をめざして

## 大学生ボランティアサークル連携促進連絡会

現在、県内の大学・短期大学には、40余りのボランティアサークルがあり、所属する学部や学科の学習課題の解決や環境保全・リサイクル、福祉、青少年健全育成などの活動に積極的に取り組んでいます。

3月2日(金)、このようなボランティア活動に取り組んでいるサークルの連絡会が行われました。会では、当ボランティアセンター所長からボランティアセンター事業説明の後、宮城県石巻市で、仮設住宅の入居者支援に携わった、鹿児島大学の牧野美紀さんが体験発表しました。

牧野さんは、「仮設住宅での生活基盤はある程度回復したが、被災の傷や将来への生活に不安を感じている方が多い。そのために、精神的な病を抱えている人もおり、自立への支援が今後の大きな課題である。」と語りました。また、各サークルの活動紹介の後の協議では、学生ボランティアの組織拡大のための取組やサークル間の連携の在り方について熱心に語り合いました。



協議のようす



参加サークル



牧野さんの発表

## 社会福祉への興味・関心を深める

## 高校生介護等体験特別事業 霧島市立国分中央高等学校

平成21年度から、23年度の3年間にわたり国分中央高等学校を協力校に指定して、生徒の福祉施設等での介護体験に取り組んできました。最終年の平成23年度は全校生徒を対象とした介護講座の開催や生活文化科の生徒を中心とした介護体験の発表会など積極的な活動が展開されました。その結果、「高齢者と接するときの対応や心遣いを身に付けられた。」「将来の進路に関わる経験ができた。」などの感想があり、福祉マインドの深まりがみられました。なお、平成24年度からは、新たに県立川薩清修館高等学校を協力校に指定して、この事業に取り組んでいきます。



福祉施設での介護体験



全校生徒参加の介護講座



介護体験の発表会